IMAGENICS

DVI(HDMI) to VIDEO CONVERTER

CRO-DVC13

取扱説明書

お買い上げありがとうございます。

この取扱説明書をよくご覧になった上、保証書と共に本書をいつでも見られる場所に保管ください。

安全にお使いいただくために

本機は、安全に十分配慮して設計されています。しかし、誤った使い方をすると火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

絵表示について

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためのさまざまな絵表示をしてあります。
その表示を無視して、誤った取扱をすることによって生じる内容を次の様に区分しています。
内容をよく理解してからお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重症を負う可能性があることを示しています。	⚠注意	この表示を無視して誤った取扱をすると、人がけがをする場合や、物的な損害を負う可能性があることを示しています。

絵表示の意味（絵表示の一例です）

△	注意（警告を含む）を促す物です。例えば は「感電注意」を示しています。
⃠	禁止行為を示す物です。例えば は「分解禁止」を示しています。
●	行為を強制したり指示したりする物です。例えば は「プラグを抜くこと」を示しています。

⚠警告

付属のＡＣアダプター以外は使用しないでください。 故障や火災の原因になります。	
接続コード類を傷つけないでください。加工したり、傷つけたり、重い物をのせたり、引っ張ったりしないでください。また、熱器具に近づけたり加熱したりしないでください。火災や感電の原因となることがあります。万一コード類が傷んだら、当社サービス窓口に修理をご依頼ください。	
内部に水や異物を入れないでください。火災や感電の原因となることがあります。万一、水や異物が入った時は、すぐにＡＣアダプターの電源プラグをコンセントから抜き、当社サービス窓口にご相談ください。	
本機から煙や異音が出る、異臭がするなどの異常な状態で使用を続けると、火災や感電の原因になることがあります。異常が発生したら直ちにＡＣアダプターの電源プラグをコンセントから抜いて当社サービス窓口にご相談ください。	
雷が鳴りだしたら、電源プラグ等に触れないでください。 感電の原因となることがあります。	
直射日光の当たる場所や、湿気、ほこり、油煙、湯気の多い場所には置かないでください。上記の様な場所に置くと、火災や感電の原因になることがあります。	
他の機器や壁、家具、ラック面との間にはすき間をあけてください。布などをかけたり、じゅうたんやふとんなど柔らかい物の上に置いたりしないでください。放熱を良くするため、他の機器とは間をあけてください。ラックなどに入れる場合は本機とラック面、他の機器との間にすき間をあけてください。過熱して火災や感電の原因になることがあります。	

⚠注意	
安定した場所に設置してください。ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、落下によりけがの原因になることがあります。	
長期間の使用において内部にほこりが溜まると、火災や感電の原因となることがありますので定期的に内部の清掃をすることをお勧めします。当社サービス窓口にご相談ください。	
本機をご使用の際は、使用温湿度範囲をお守りください。保存される場合は保存温湿度範囲を守って保存してください。	
機器の破損の原因となることがありますので、本機と入出力信号及び制御ケーブルを接続する際は、各機器の電源が切れている状態で接続して下さい。	
ＡＣアダプターの電源プラグの抜き差しは本体部分を持って行ってください。コード部分を引っ張ると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。	
濡れた手でＡＣアダプターの電源プラグにさわらないでください。 感電の原因になることがあります。	
定期的にＡＣアダプターの電源プラグのチェックをしてください。 電源コンセントにプラグを長期間差し込んだままにしておくと、その間にほこりやゴミがたまってきます。さらに空気中の水分などを吸湿すると、電気が流れやすくなるため（トラッキング現象）プラグやコンセントが炭化し、時には発火の原因になることがあります。事故を防ぐため定期的に電源プラグがしっかりささっているか、ほこりが付いていないかなどを点検してください。	
移動させる時、長時間使わない時はＡＣアダプターの電源プラグを抜いてください。 電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。長期間使用しない時は安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。	
お手入れの時は、ＡＣアダプターの電源プラグを抜いてください。 電源プラグを差し込んだままお手入れすると、感電の原因になることがあります。	
分解、改造などをしないでください。感電の原因となることがあります。内部の点検や修理は当社のサービス窓口にご依頼ください。	

正常な使用状態で本機に故障が発生した場合は、当社は本機の保証書に定められた条件に従って修理いたします。但し、本機の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因により通信、録画、再生などにおいて利用の機会を逸したために生じた損害などの付随的損失の補償につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、予めご了承ください。

----- 目次 -----

安全にお使いいただくために 1
主な特長 4
1. 各部の名称と接続設定について 5
2. 基本操作方法 8
3. メニュー設定内容 9
4. EDID エミュレーション機能について 13
5. 自動バックアップメモリー機能 14
6. インフォメーション表示 15
7. ラックマウントについて 16
8. 主な仕様 17

主な特長

CRO-DVC13 は、DVI-D 信号からコンポジットビデオ信号に変換する高画質ダウンコンバーター内蔵の変換器です。

- 付属の変換コネクタにより HDMI 信号にも対応し、その場合はエンベデッドされた音声信号をアナログ出力することができます。
- 映像と音声は同一のものが 2 分配出力されますので、モニター出力と録画出力などに本機 1 台で対応できます。
- ±15%のサイズ設定や画像位置のシフトなどをオンスクリーンメニューにより細かく調整することができます。
- 前面パネルの ASPECT スイッチで出力画像をワンタッチで全画面表示や各種アスペクトに切り替えできます。
- コンポジットビデオ信号出力に ID-1 信号を付加できるので、対応モニターであればワイド切り替えが自動で行えます。(オンスクリーンメニューで ID-1 を無効にすることも可能です)
- 内蔵された各種プリセットデータによる DVI(HDMI)信号入力部の EDID エミュレーション機能があります。
- 前面の 2 色 LED で入力信号の状態を簡単に確認できます。オンスクリーン表示によるインフォメーション表示も可能です。
- 入力解像度毎に記憶可能な自動バックアップメモリー機能があります。入力解像度の種類をきめ細かく判定し、自動判別してメモリーします。バックアップ寿命はほぼ半永久に保持します。
- ハガキサイズの小型低消費電力型です。(当社比)

※ 著作権保護された信号(HDCP)が入力された場合、入力インジケーターが赤点滅しアナログ出力はミュートされます。
※ HDMI 音声入力は、LPCM ステレオ音声のみです。その他の HDMI 音声には対応していません。
※ 本機は内蔵のダウンコンバーターによりコンポジットビデオ出力で±15%のズームに対応していますが、入力信号が D1,D2,VGA 等の画素が少ない信号の場合は拡大する方向に制限があります。入力信号からの画素を増やすアップコンバートには対応できません。
また入力信号の垂直周波数が 63Hz 以上の場合、アンダースキャン表示になり拡大ズームはできません。
※ PAL 方式には対応しません。
※ 入力する信号のフレーム周波数が 59.94 Hz から誤差がある場合はフレームリピートあるいはフレームスキップで処理されます。フレーム内での追い越しは発生しません。
※ ラックマウントには別売の MK-CR0103A が必要です。1 台の MK-CR0103A で EIA 1U スペースへ、3 台までラックマウントが可能です。

同　梱　品	
取扱説明書	1 部(本書)
保証書	1 部
国内専用 AC アダプター (5 V 2.3 A 出力)	1 個
DVI-D24(オス)⇔HDMI(メス)変換コネクター	1 個

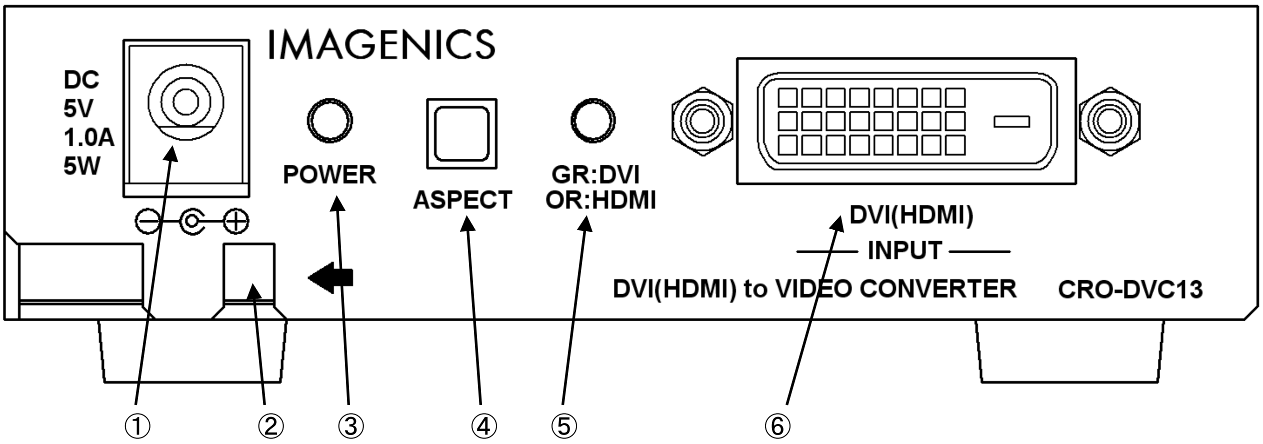
万一、不足している物がある場合は直ちに弊社営業所までご連絡ください。

⚠警告

※ 付属の AC アダプタ以外を使用した場合の故障は有償修理となります。

1. 各部の名称と接続設定について

前面パネルの説明



① DC コネクタ
付属の AC アダプタを接続して下さい。

⚠警告

※　付属の AC アダプタ以外を使用した場合の故障は有償修理となります。

② AC アダプタ抜け防止機構
束線バンド等で AC アダプタのケーブルをここに固定し抜けを防止します。
束線バンド等は矢印（←）の方向に挿入して下さい。
AC アダプタのケーブルにストレスがかからないように固定して下さい。

③ POWER インジケータ
電源が供給されると緑点灯します。

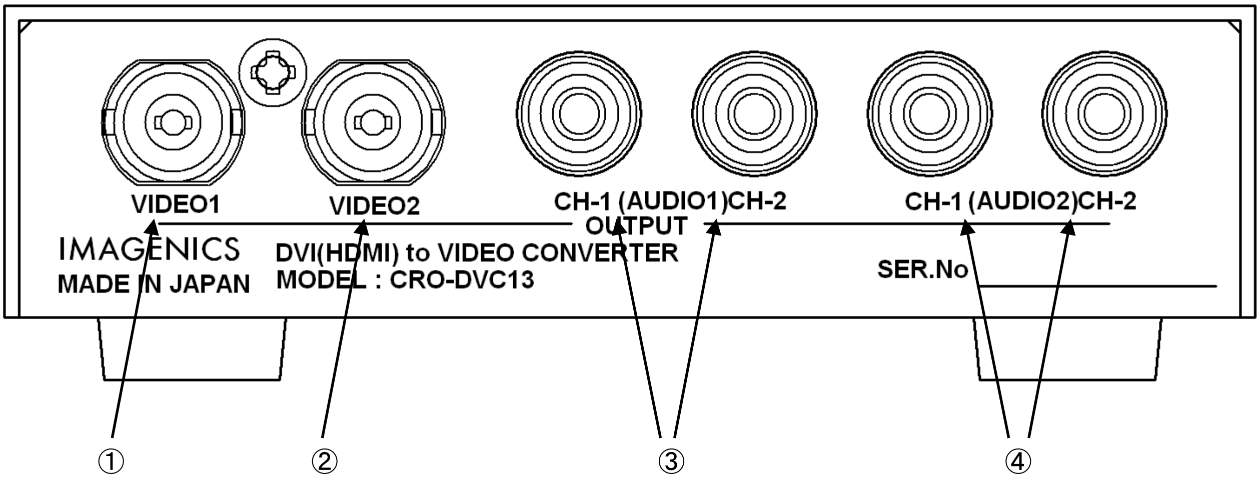
④ アスペクト切り替えスイッチ
一度押すと出力画面に現在のアスペクト設定モードを約１秒オンスクリーン表示します。
表示が出ている間に再び押すと設定モードを連続して切り替えすることができます。
切り替える種類はオンスクリーンメニューの[PICTURE.FORMAT]→[ASPECT.RATIO]の内容と同じです。
詳細はメニュー設定の内容を参照してください。

⑤ 入力ステータスインジケーター
消灯　　：無入力状態
緑色点灯：DVI 信号入力時
橙色点灯：HDMI 信号入力時
赤色点滅：HDCP 信号を検出した場合にゆっくり赤で点滅し、出力画像はミュートされます。
（この機能はメニューの[HDCP.CUT]→[ON]に設定すると働きません）

※緑色・橙色で高速で点滅している場合は入力信号が不安定です。
映像出力にノイズが乗っている場合がありますが、本機ではそのまま出力します。
その場合でも映像出力の同期信号は乱れません。

⑥　DVI(HDMI)INPUT　映像信号入力端子　DVI-D 24 ピンコネクタ
DVI 映像信号の入力端子です。DVI-D ケーブルを使用してパソコンなどと接続します。
付属の変換コネクタを使用して HDMI 端子からのデジタル信号も接続できます。

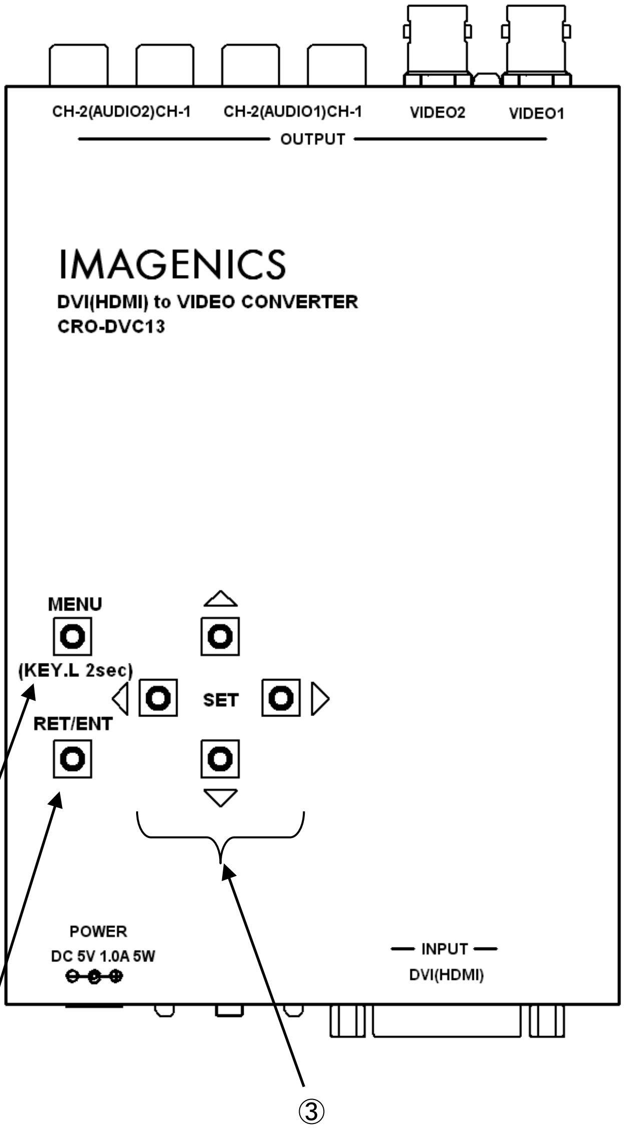
背面パネルの説明



①　VIDEO 出力 1
②　VIDEO 出力 2
アナログコンポジットビデオを出力する端子です。
出力 1 と出力 2 で同じものが出力されます。

③　AUDIO 出力 1
④　AUDIO 出力 2
HDMI フォーマットで送られた音声をアナログに変換して出力します。
出力 1 と出力 2 で同じものが出力されます。

上面パネルの説明



① メニューボタン
このボタンでオンスクリーンメニューを表示させます。
オンスクリーンメニューが表示されている時に押すと、通常状態に戻ります。

また、このボタンを 2 秒以上長押しするとキーロック状態の設定および解除ができます。
キーロック状態では前面のアスペクト切り替えスイッチも無効になります。

② リターン／エンターボタン
メニュー階層のリターン、調整項目の決定時に使用します。

③ SET 4 方向ボタン
SET のボタンで上下方向でメニュー項目を選択し、左右方向のボタンで調整項目を変更します。

2. 基本操作方法

メニュー操作は上面の 6 個の押しボタンを使用します。

MENU 押しボタンを押すことにより、次のメインメニューを表示します。

```
            (( MAIN MENU ))

        MENU OFF
   ☞   PICTURE.FORMAT
        PICTURE.SIZE/SHIFT
        OTHER.SET
        INFORMATION




        ▲▼ : SELECT   RET/ENT:NEXT_PAGE
                           MENU:MENU_OFF
```

メインメニュー表示で調整したい項目にカーソル ☞ を SET 上下押しボタンで合せ、RET/ENT 押しボタンを押します。先の例で RET/ENT 押しボタンを押すと、次の様な調整メニューを表示します。

```
          (( PICTURE FORMAT ))

      RETURN to MAIN MENU
   ☞ IN.ASPECT.RATIO     (AUTO 16:9)
      IN.PICTURE.FORMAT (AUTO YPBPR)
      DISPLAY.ASPECT.RATIO   (16:9)




    ▲▼ : SELECT
    ◀▶ :SET              MENU:MENU_OFF
```

メニュー画面は約 5 分放置すると通常状態に戻ります。
ただし、INFORMATION メニューを表示している場合はずっと表示し続けます。

3. メニュー設定内容

I. 入力信号形式とアスペクト切り替え

メインメニューから PICTURE.FORMAT を選択すると次のように表示されます。

```
        (( PICTURE FORMAT ))

    RETURN to MAIN MENU
  ☞ IN.ASPECT.RATIO     (AUTO 16:9)
    IN.PICTURE.FORMAT (AUTO YPBPR)
    DISPLAY.ASPECT.RATIO   (16:9)



  ▲▼ : SELECT
  ◀▶ :SET            MENU:MENU_OFF
```

◆ IN.ASPECT.RATIO 設定

選択項目	説明
AUTO(工場出荷時)	入力信号のアスペクト比を検出し、アスペクトを維持したまま出力します。 検出したアスペクト比を右側に表示します。
FULL SIZE	入力信号のアスペクトにかかわらず常に画面いっぱいに表示します。
4:3 5:4 15:9 16:9 16:10 17:9 各マニュアル設定	アスペクト比をマニュアルで固定したい場合に設定します。

※前面パネルの ASPECT スイッチを押すとこのメニューを変更したのと同じ動作ができます。
※最初に DISPLAY.ASPECT.RATIO の設定を確認してください。
本機は DISPLAY.ASPECT.RATIO 設定の内容に応じて比率を自動で調整します。

◆ IN.PICTURE.FORMAT 設定

選択項目	説明
AUTO(工場出荷時)	通常はこのモードでご使用ください。入力される DVI 信号または HDMI 信号を自動判断して最適な状態で動作します。 検出したフォーマットを右側に表示します。
YPBPR.422 YPBPR.444 RGB.16-235 RGB.0-255	特殊な機器を接続した場合にはその機器の仕様に合わせてマニュアル設定してください。

◆ DISPLAY.ASPECT.RATIO 設定

選択項目	説明
16:9(工場出荷時)	通常の横長ディスプレイはこちらのモードで使用します。
4:3	ワイド画像に対応していない 4:3 専用のシステムの場合はこちらを選択します。

II. 画像サイズ・シフト設定

メインメニューから PICTURE.SIZE/SHIFT を選択すると次のように表示されます。

```
      (( PICTURE SIZE/SHIFT ))

       RETURN to MAIN MENU
    ☞ PICTURE.H.SIZE         (95.0%)
       PICTURE.V.SIZE         (95.0%)
       PICTURE.H.SHIFT        (    0)
       PICTURE.V.SHIFT        (    0)
       PICTURE.H.TRIM.L       (    0)
       PICTURE.H.TRIM.R       (    0)
       PICTURE.V.TRIM.TOP     (    0)
       PICTURE.V.TRIM.BOT     (    0)


   ▲▼ : SELECT
   ◀▶ :SET            MENU:MENU_OFF
```

- PICTURE.H.SIZE 設定(工場出荷時 95.0%)
- PICTURE.V.SIZE 設定(工場出荷時 95.0%)

  出力画面を ASPECT.RATIO 設定のフルサイズを 100%として水平方向・垂直方向それぞれ 85%～115%の間で可変できます。
  設定を変更しても画像のセンターはほぼ維持されます。
  縮小した場合に映像エリア外の部分はバックカラーが表示されます。

  ※D1,D2,VGA 信号などの入力画素が SD 画像度相当以下の信号では拡大に制限があります。
  　その場合にはメニュー上で自動的にリミットがかかります。(縮小には制限はありません)
  ※VGA 信号の場合､水平画素数が SD 解像度以下になりますので､画面いっぱいの表示はできません。
  ※垂直周波数が 63Hz 以上の信号の場合、アンダースキャン表示になり拡大はできません。

- PICTURE.H.SHIFT 設定(工場出荷時 0)
- PICTURE.V.SHIFT 設定(工場出荷時 0)

  出力画面をそれぞれ水平方向・垂直方向にシフトすることができます。
  画像の位置の微調整にお使いください。
  シフトして映像エリア外になった部分にはバックカラーが表示されます。

- PICTURE.H.TRIM.L 設定(工場出荷時 0)
- PICTURE.H.TRIM.R 設定(工場出荷時 0)
- PICTURE.H.TRIM.TOP 設定(工場出荷時 0)
- PICTURE.H.TRIM.BOT 設定(工場出荷時 0)

  出力画像の上下左右にバックカラーでのトリミングができます。
  画像のズームやシフトとは無関係での設定になります。

III.その他の設定

メインメニューから OTHER.SET を選択すると次のように表示されます。

```
            (( OTHER SET ))

      RETURN to MAIN MENU
    ☞ IN.EDID.SET   (HDMI/1920x1200RB)
      HDCP.MUTE.COLOR    (BLACK)
      BACK.COLOR.COLOR   (BLACK)
      OUT.FILTER.ADJ     (FLAT)
      IN.EQA.GAIN.ADJ    (AUTO)
      ID-1.OUT           (ON)
      HDCP.CUT           (OFF)


    ▲▼:SELECT
    ◀▶:SET            MENU:MENU_OFF
```

- IN.EDID.SET 設定(工場出荷時 HDMI/1920x1200RB)
  本機の EDID エミュレーション機能の設定値を切り替えます。
  詳細は 4 項の「EDID エミュレーション機能について」を参照してください。

- HDCP.MUTE.COLOR 設定

選択項目	説明
BLACK(工場出荷時)	HDCP により著作権保護された信号を黒画面でミュートします。
BACK.COLOR	HDCP 信号を BACK.COLOR.COLOR で設定したカラーでミュートします。

- BACK.COLOR.COLOR 設定

選択項目	説明
BLACK(工場出荷時)	バックカラーを黒に設定します。
BLUE	バックカラーをブルーに設定します。
GRAY	バックカラーをグレイ(50%ホワイト)に設定します。

- OUT.FILTER.ADJ 設定

選択項目	説明
FLAT(工場出荷時)	ダウンコンバートしたそのままを出力します。
-1～-2step	中域から高域の周波数成分をやや落として出力します。 PC のドキュメント画像等でリンギングが気になる場合に有効です。
-3step	高域の周波数成分をシャープにカットします。自然画でぎらつきが気になる場合にこの設定をお試しください。

◆ IN.EQA.GAIN.ADJ 設定

選択項目	説明
AUTO(工場出荷時)	入力部のケーブルイコライザーゲインのオフセット調整です。 通常 AUTO の設定で使用します。
-9～+3step	システム接続において、映像にノイズが出たり不安定な場合や、HDMI 音声が途切れる場合は加減して最良点に調整してください。

◆ ID-1.OUT 設定

選択項目	説明
ON(工場出荷時)	出力信号に ID-1 信号を重畳します。 PICTURE FORMAT メニューの DISPLAY.ASPECT.RATIO の設定に応じて 16:9 または 4:3 を自動的に選択して重畳します。
OFF	ID-1 信号を重畳しません。 ID-1 信号が映像として見えてしまう場合や、ディスプレイ側で ID-1 信号検出がうまくいかない場合は OFF にしてください。 この場合はディスプレイ側でアスペクトの設定をする必要があります。

◆ HDCP.CUT 設定(工場出荷時 OFF)

選択項目	説明
OFF(工場出荷時)	通常はこの設定でお使いください。
ON	一部メーカーの機器で著作権保護が必要ない信号をHDCPで送ってくる場合があり、その場合はこのメニューを[ON]にして HDCP 通信をカットします。 PC 側に HDCP 未対応機器として認識させることで映像を出力させることが出来ます。

※この設定を[ON]にすると HDCP 信号に対して無反応になりますので、前面パネルの
入力ステータスインジケーターの HDCP 検出は働きません。
※著作権保護された信号を出力する機能ではありません。
※この設定を変更した場合は、入力側の PC を再起動してください。

4. EDID エミュレーション機能について

- 本機には、パソコンや HDMI 機器等の映像信号源との間でプラグアンドプレイ機能に対応した DDC2B 通信機能があります。本機とパソコンや HDMI 機器等を直接接続する場合は、意図する解像度を得るため、設定を必要に応じて変更することができます
- DDC2B 通信は、本機の電源が OFF の状態でも通常のパソコンモニター同様に、パソコン側からの DDC 電源供給により通信することができます。これにより、パソコンと本機の電源投入シーケンス等を考慮する必要はありません。
- EDID 設定はオンスクリーンメニューで行います。

工場出荷時の HDMI/1920x1200RB 設定には、640x480@60、1,024x768@60、1152x864@75、1,280x960@60、1,280x1,024@60、1,400x1,050@60、1,600x1,200@60、1,280x800@60、1,440x900@60、1,680x1,050@60 の各解像度が標準設定されています。また、HDMI 機器の D1～D5 解像度および音声(LPCM)に対応するデータも格納されています。
ほとんどの場合､この状態でお客様が接続するHDMI機器やパソコンから必要とする解像度が得られます。
パソコン接続の場合は、パソコン側の設定で解像度選択が可能です。

本機で設定できる EDID データは以下の通りです。

IN.EDID.SET 設定

HDMI/1920x1200RB(工場出荷時)	
2048x1080RB	1360x768
HDMI.D2.480p	1440x900
HDMI.D3.1080i	1680x1050
HDMI.D4.720p	1366x768
HDMI.D5.1080p	1600x900RB
1400x1050	1600x1200
1280x1024	1280x720
1280x960	1920x1080
1280x768	2048x1152RB
1280x800	1024x768

5. 自動バックアップメモリー機能

本機はメニューの設定値を自動で不揮発性メモリーにバックアップする機能があります。
メニュー操作後に設定内容を自動的にバックアップしています。

PICTURE.SIZE/SHIFT メニューの全項目と、IN.ASPECT.RATIO 設定は入力された解像度ごとに保存され、次回以降は同じ信号が入力されると自動的に前回保存された設定を呼び出して動作します。
(INPUT.MEMORY)

またその他の設定項目はシステム設定値として保存されます。(SYSTEM.MEMORY)

これらのメモリーを工場出荷時の状態に戻す操作は以下の通りです。

MENU ボタンと RET/ENT ボタンを同時に押しながら電源をいれます。
以下のメモリーコンフィグ画面が表示されたらボタンを解放します。

```
        (( MEMORY CONFIG ))

     ALL.MEMORY.CLEAR    (No)
  ☞ INPUT.MEMORY.CLR     (No)
     SYSTEM.MEMORY.CLR   (No)


 ▲▼ : SELECT     RET/ENT:SAVE & EXIT
 ◀▶ :SET         MENU:CANCEL & EXIT
```

- ALL.MEMORY.CLEAR 設定
  この項目で[Yes]を選択し、RET/ENT ボタンを押すと全てのメモリー内容をクリアします。

- INPUT.MEMORY.CLR 設定
  この項目で[Yes]を選択し、RET/ENT ボタンを押すと入力解像度ごとに保存された設定を全てクリアします。
  SYSTEM.MEMORY の内容は保持されます。

- SYSTEM.MEMORY.CLR 設定
  この項目で[Yes]を選択し、RET/ENT ボタンを押すと SYSTEM 設定値をクリアします。
  INPUT.MEMORY の内容は保持されます。

6. インフォメーション表示

入力信号の状態および本機の動作モードをオンスクリーンにて表示することができます。
下記は本機の標準 EDID HDMI/1920x1200RB を用いて PC から入力した一例です。

```
          (( INFORMATION ))

      RETURN to MAIN MENU
      INPUT STATUS   STD:VESA WUXGA  ←─(1)
       RGB.0-255     (HDMI.A48K)     ←─(2)
       H:74.1kHz↑     V:60.0Hz/p↓    ┐
       H-CLK:2080clk  H-ACT:1920pix  ├(3)
       V-LIN:1235lin  V-ACT:1200pix  ┘
       ASP:AUTO(16:10)   MEM:No.1    ←─(4)
      OUTPUT STATUS
       DISPLAY ASPECT:  16:9         ←─(5)

       HDCP-MUTE                     ←─(6)
      FIRMWARE P:1.0 F:1 C:0         ←─(7)

                      MENU:MENU_OFF
```

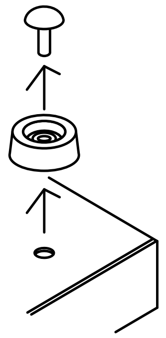
- INPUT STATUS 情報
  (1) 映像信号の種類に応じて HD,SD,VESA(PC 系)と表示します。
  VESA の場合は通称名を表示しますが、あまり一般的でない名称も含まれています。
  本機で使用する場合のフラグとしてご使用ください。
  (2) 入力信号の形式を表示します。
  IN.PICTURE.FORMAT でマニュアル設定すると文字が黄色に変化します。
  上記の場合は RGB フルレンジで HDMI モード、音声サンプリング 48KHz を示します。
  (3) 本機で計測した水平、垂直周波数と同期信号極性↑↓、アクティブピクセル数を表示します。
  (4) IN.ASPECT.RATIO 設定値(検出したアスペクト)と自動バックアップメモリー番号を表示します。
  アスペクト比をマニュアル設定すると黄色の表示に変わります。

- OUTPUT STATUS 情報
  (5) DISPLAY.ASPECT.RATIO で設定したアスペクト比を表示します。
  (6) 入力が HDCP 信号の場合に赤色で表示が点滅し、画像がミュートされていることを示します。

- FIRMWARE 情報
  (7) 本機の内蔵ファームウェアの情報です。表示は今後変更される場合があります。

7. ラックマウントについて

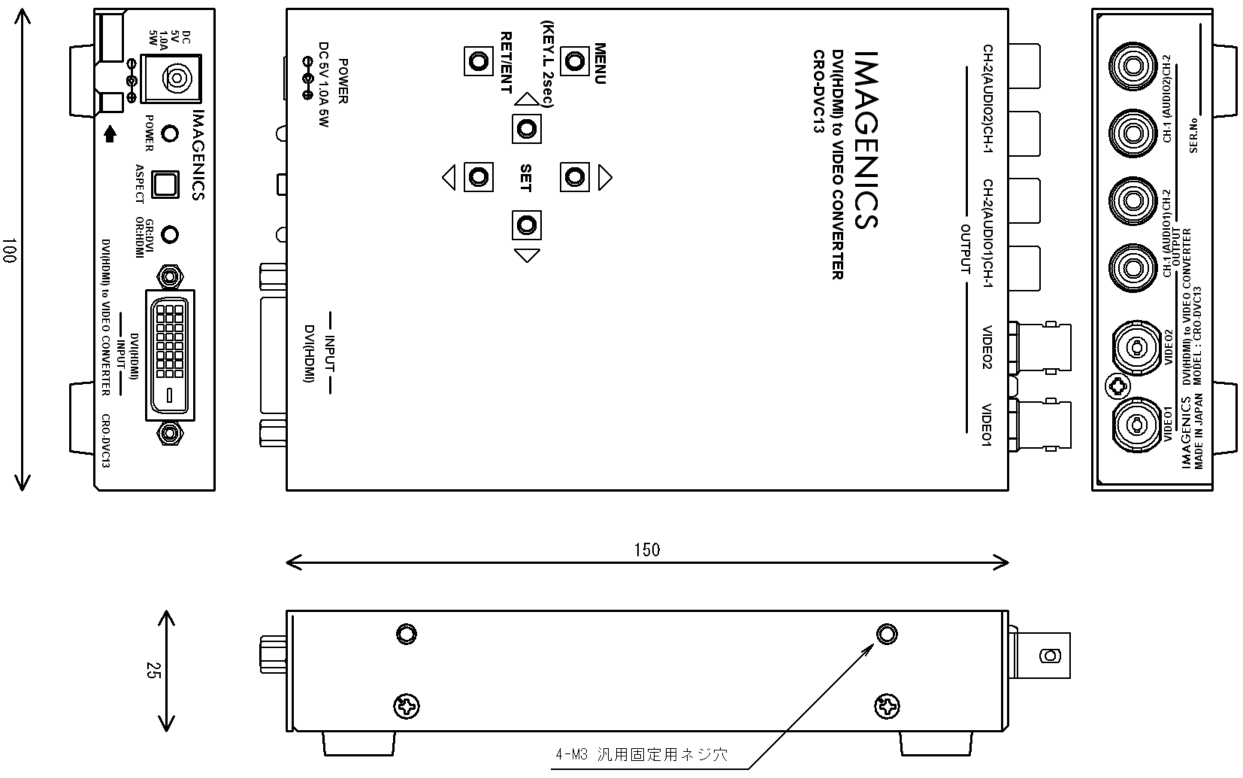
別売りの MK-CRO103A ラックマウントキットをご使用頂きますと、EIA 規格の 1U サイズのラックに本機を 1 台から 3 台まで実装可能です。
ラックマウント金具取付け方法は MK-CRO103A の説明書をご覧ください。
右図の様に、本機底面のプラ足を取り外し MK-CRO103A に実装して下さい。
中央のピンを、マイナスドライバーなどで浮かせて引き抜くと外れます。



8. 主な仕様

入力信号部	
入力信号	: DVI Rev 1.0 規格準拠 DVI-D24 ピンコネクター（シングルリンク） 1 系統
対応フォーマット	: 対応解像度 VGA ～ UXGA,WUXGA(RB)の 60Hz 系 および D1～D5 相当の HDMI 互換信号
映像出力部	
出力信号	: NTSC 規格(SMPTE170M 規格準拠) 1 系統 2 分配 BNC コネクタ x2
出力レベル	: 1.0 V(p-p) 75 Ωドライブ
音声出力部	
出力端子	: アンバランス・2 チャンネルステレオ音声 1 系統 2 分配 RCA ピンジャック x4
出力レベル	: -10 dBu (-20 dBFs 時 10 kΩ 負荷)
音声周波数特性	: 20 Hz ～ 20 kHz にて、-1 dB ～ +1 dB
S/N 比	: 85 dB 以上 (1 kHz の A 特性、基準-10 dBu 出力時)
クロストーク	: 80 dB 以上
歪率	: 0.03 % 以下 (-10 dBu 出力 1 kHz)
入出力遅延時間	: 33.4 ms ～ 66.8 ms (入力信号の 1～2 フレーム 映像・音声で共通)
一般仕様	
動作温度湿度範囲	: 0 ℃ ～ 40 ℃ 20 %RH ～ 90 %RH (但し結露無きこと)
保存温度湿度範囲	: -20 ℃ ～ 70 ℃ 20 %RH ～ 90 %RH (但し結露無きこと)
電源	: DC 5V 1.0 A 5 W (最大)
外形寸法	: 幅 100 mm 高さ 25 mm 奥行 150 mm (突起物を含まず)
質量	: 約 550 g
付属品	: AC 100 V 27 VA 50 Hz ・ 60 Hz 国内専用 AC アダプター 1 台 (5 V 2.3 A 出力) DVI-D (オス) 対 HDMI (メス) 変換コネクタ 1 個

＜外観図＞


IMAGENICS
DVI(HDMI) to VIDEO CONVERTER
CRO-DVC13
MENU
(KEY.L 2sec)
RET/ENT
SET
POWER
DC 5V 1.0A 5W
INPUT
DVI(HDMI)
OUTPUT
CH-2(AUDIO2)CH-1
CH-2(AUDIO1)CH-1
VIDEO2
VIDEO1
100
150
25
4-M3 汎用固定用ネジ穴

1. 本書の著作権はイメージニクス株式会社に帰属します。本書の一部または全部をイメージニクス株式会社から事前に許諾を得ること無く複製、改変、引用、転載することを禁止します。
2. 本書の内容について、将来予告無しに変更することがあります。
3. 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
4. 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
5. 本機のファームウエアおよびハードウエアに対して、リバースエンジニアリング等の手法によって内部を解析し利用することを禁止します。
6. 乱丁本、落丁本の場合はお取替えいたします。当社、営業窓口までご連絡ください。

イメージニクス株式会社
All Rights Reserved.2020

仕様および外観は改良のため予告無く変更することがありますので、予めご了承ください。

製造元　イメージニクス株式会社

製品に関するお問い合わせは下記サポートダイヤルにて承ります。
フリーダイヤル　0120-480-980（全国共通）
東日本サポート TEL 03-3464-1418　西日本サポート TEL 06-6358-1712

本社　技術本部　〒182-0022　東京都調布市国領町 1-31-5
営業本部　〒150-0043　東京都渋谷区道玄坂 1-16-7 ハイウェービル 6F
TEL 03-3464-1401　FAX 03-3477-2216
大阪営業所　〒534-0025　大阪市都島区片町 2-2-48　JR 京橋駅 NK ビル 3F
TEL 06-6354-9599　FAX 06-6354-9598
福岡営業所　〒812-0013　福岡市博多区博多駅東 1-18-25 第 5 博多偕成ビル 3F
TEL 092-483-4011　FAX 092-483-4012
https://imagenics.co.jp/

2501FU　V1.3